



わたしの夢

川俣小学校6年

木幡羽瑠

ホームランを連発する

プロ野球選手になる

わたしの夢は、ホームランをたくさん打つ日本一有名なプロ野球選手になることです。私がプロ野球選手になりたいと思ったのは、友達に誘われてソフトボールを始めた小学3年生の頃からです。連日、テレビや新聞でメジャーでの活躍ぶりを報道されている大谷翔平選手のように「どんな球でもスタンドに放り込んでしまおう」そんな選手になりたいと思いました。最近、実際に大谷翔平選手の打ち方を試してみるなど、試行錯誤をしながら練習に励んでいます。また、現在はショートを守っていますが、プロ野球選手になっても同様にショートでボールをさばき、攻守兼備な選手として活躍したいです。プロ野球選手になるためにはもっと打てるようになることが大切ですが、声出しや道具を綺麗に使うこと、両親や指導者への感謝など、プレー以外でも全力で取り組むことが大切だと思います。まずは高校で甲子園に出場することを目標に日々の練習を頑張りたいと思います。

町長のひとこと vol.43



去る10月6日、川俣高校同窓会東京支部と東京川俣会の合同総会が開かれ、会員の高齢化や減少などにより合併することが決まりました。川俣高校同窓会東京支部は、1946年に設立し、今年で第78回の総会、東京川俣会は、1994年に設立し、今年で第30回の総会でした。60代から80代の会員が多く、双方合わせて50名の出席者がありました。若くは、若い人の参加は年々少なくなっており、会の運営も大変になっているとのことでした。そこで今年、合同総会を開き、新たに「東京おりひめ・楓会」が誕生し、新会長には、飯坂地区出身の佐藤明さんが選出されました。川俣高校も少子化の進展と、原子力災害等により入学者が激減し、令和7年度から全国生徒募集を行うことになっています。東京に暮らす皆様、故郷川俣を想う心に感銘を受け気持ちを新たにしたい総会でした。